

日本私立大学団体連合会・日本私立短期大学協会主催
東日本大震災の被災地におけるシンポジウム 2012
〔開催要項〕

【開催趣旨】

東日本大震災は、多くの尊い命を奪い、その生活基盤たる街や村をも破壊つくすとともに、東京電力福島第一原子力発電所事故は未だに深刻であり、福島県の住民や私立大学は除染・学生減少等の塗炭の苦しみに喘いでいます。

被災地の一日も早い復旧を願うとともに、被災地の総合的な復興が21世紀の日本の再生モデルとなり、誇りある日本人の歴史に足跡を留めるよう、強く念願し、期待されています。

全国各地に展開する多様で多層の活力ある私立大学・私立短期大学とその関係者が共に情報を共有し、復興後の日本の在り方について考え、大学の支援の取組みを一層強固なものとするため、平成23年8月に開催した宮城県仙台市におけるシンポジウムに続き、このたび福島県郡山市において下記によりこのシンポジウムを開催いたします。

日 時	平成24年8月8日(水) 13時~17時
会 場	郡山女子大学・同短期大学部 建学記念講堂 所在地：郡山市開成3-25-2
参加対象	どなたでもご参加いただけます。 主催団体に加盟する大学・短期大学の関係者をはじめ、教育関係者、 地域在住の方々など広く一般市民の皆様。
参加費	無料
申込期限	平成24年7月31日(火)

I. 開催テーマ

東日本大震災を超えて：大学のなすべきこと、できること
—教育の復興なくして地域の復興と国の再生なし—

II. プログラム(予定)

1. 主催者あいさつ

清家 篤 (日本私立大学団体連合会会長、慶應義塾長)

2. 来賓あいさつ

小松親次郎 氏 (文部科学省高等教育局私学部長)

佐藤 雄平 氏 (福島県知事)

原 正夫 氏 (郡山市長)

3. 特別講演

「安心・安全な生活環境を求めて－子どもの未来を拓く」（仮題）

児玉 龍彦 氏（東京大学アイソトープ総合センター長）

4. シンポジウム

「東北被災大学のこの1年の取組みと地域貢献」（仮題）

[コーディネータ]

関口 修 氏（学校法人郡山開成学園理事長・郡山女子大学学長）

[シンポジスト]

原 正夫 氏（郡山市長）

日高 義博 氏（学校法人専修大学理事長・専修大学学長）

関口 武司 氏（いわき明星大学学長）

遠藤 静子 氏（桜の聖母短期大学学長）

5. 閉会あいさつ

佐藤 弘毅（日本私立短期大学協会会長、目白大学短期大学部学長）

III. スケジュール（予定）

時間帯	分	プログラム等		備考
12:00-13:00	60	受付		
13:00-13:10	10	主催者あいさつ	清家 篤（日本私立大学団体連合会会長）	
13:10-13:25	15	来賓あいさつ	小松親次郎氏（文部科学省高等教育局私学部長） 佐藤 雄平氏（福島県知事） 原 正夫氏（郡山市長）	
13:25-14:25	60	特別講演	児玉 龍彦氏（東京大学アイソトープ総合センター長）	
14:25-14:40	15	休憩		
14:40-16:35	115	シンポジウム	[コーディネータ] 関口 修氏（郡山女子大学学長） [シンポジスト] 原 正夫氏（郡山市長） 日高 義博氏（専修大学理事長・学長） 関口 武司氏（いわき明星大学学長） 遠藤 静子氏（桜の聖母短期大学学長）	
16:35-16:55	20	フロアーとの意見交換		
16:55-17:00	5	閉会あいさつ	佐藤 弘毅（日本私立短期大学協会会長）	

IV. 参加申し込み方法

別紙「参加申込書」をファクシミリにて、日本私立短期大学協会事務局まで（FAX：03-3263-6950）ご連絡いただきますようお願い申し上げます。

参加申込期限：平成24年7月31日（火）

V. お問い合わせ先

日本私立大学団体連合会 事務局（担当：島田）

電話：03-3221-7686 FAX：03-3221-7757

日本私立短期大学協会 事務局（担当：石塚、宮岡）

電話：03-3261-9055 FAX：03-3263-6950

VI. 会場案内

郡山女子大学・同短期大学部 建学記念講堂

所在地：郡山市開成3-25-2

【アクセスマップ 郡山女子大学・同短期大学部への交通と大学構内】は次頁参照